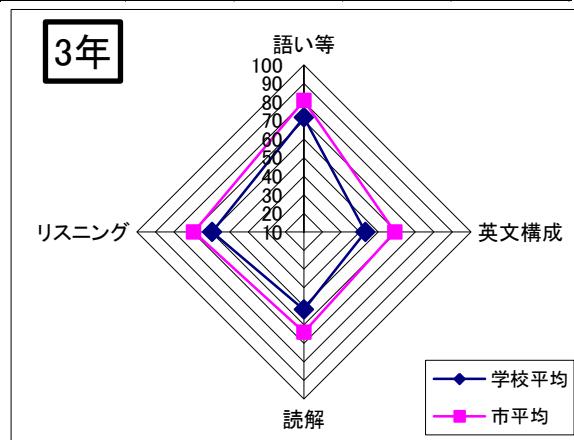


平成27年度「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組(大桐中学校)

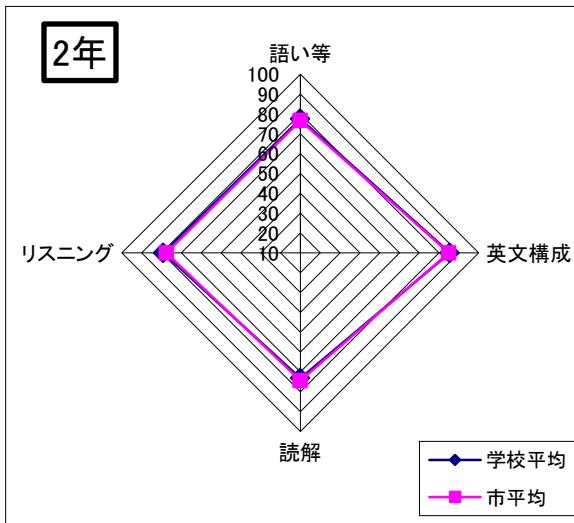
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	71.7	43.1	51.8	59.5
市平均	80.8	59.0	63.9	69.4

(%)



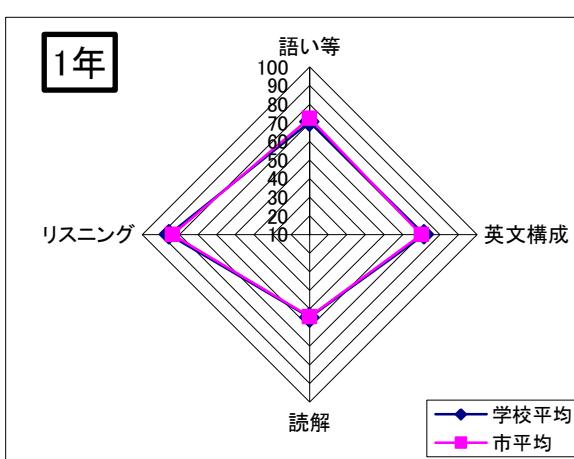
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	77.5	85.4	73.2	79
市平均	76.7	84.9	74.4	77.5

(%)



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	70.5	71.5	54.5	85.6
市平均	72.5	70.1	54.1	83.7

(%)



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル: スコア 0～460点

『結果の概要』

全分野において市平均を下回った。「語い等」では7割以上の正答率であったが、「英文構成」では半数以下の正答率であった。

『結果をふまえた今後の取組』

「英文構成」の分野を強化するために、基礎・基本的な学習ドリルなどを通じて、定着を図る。また「読解」の分野は、文章を読み解く学習に取り組みたい。またC-NETとの授業を通じて、とまった量の英語を聞き取り理解する力をつけていく。

2年 英検4～5級レベル: スコア 0～400点

『結果の概要』

「読解」の分野は、市平均には至らなかったが、市平均に近い正答率であった。「語い等」「リスニング」「英文構成」については市平均を少し上回った。

『結果をふまえた今後の取組』

継続して、基礎的・基本的な知識・技能の習得に力を入れて取り組む。語い力の向上、文法活用力の強化については、習熟度別学習やドリルなどを利用して、より個々に応じた学習を充実させる必要がある。「読解」の分野では、授業において長文読解に接する機会を増やし、苦手意識を持たずに取り組めるよう授業や課題などの工夫が必要である。「リスニング」力向上のため、C-NETとの授業や、クラスルームイングリッシュ、生徒同士のアクティビティーなどを通して、聞く力の向上に努めたい。

1年 英検5級レベル: スコア 0～340点

『結果の概要』

「語い等」の分野の正答率は約7割程度であったが、「リスニング」「読解」「英文構成」は市の平均少し上回る結果であった。

『結果をふまえた今後の取組』

長期的に語彙力の強化をする必要があるように感じる。ドリルなどの反復練習を増やし、inputの量を増やす。

「読解」の分野では、英語の文章を読み込む練習を増やしていくたい。

「リスニング」の分野では聞く量を増やすことも大切であるが、声を出してたくさん英語を読む場面を増やすことで聞く力の向上に努めていきたい。